

事務事業実績測定調査

事務事業名称	光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	都市整備部			課	市街地開発課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4			
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名		4-1.道路などの整備の推進								
1. 事務事業の概要											
種類	市民サービス			特性	非選択的的事业			区分	非選択的の事務事業		
事業期間	2016(H28)年度			年度	~				年度まで		
根拠法令等	都市計画法、都市再開発法										
関係補助金名称								サンセット			-
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	地元権利者で構成する光善寺駅西地区市街地再開発組合									
	サブターゲット	光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業により整備される公共施設や施設建築物の利用者									
	ターゲットが抱える課題	組合が市街地再開発事業を施行するにあたって、技術的・財政的な支援等が必要である。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市街地再開発事業の実施により、都市計画道路や駅前交通広場の整備を行い交通結節点機能が強化される。商業施設棟を中心に都市機能誘導施設の配置や都市住居の整備を行い、交流・定住人口の増加促進となる。耐火建築物を整備することにより、防災機能の強化を図れる。										
事業概要	<p>京阪光善寺駅周辺地区にて、地元組合施行の市街地再開発事業による都市計画道路北中振線及び駅前交通広場と施設建築物の一体的な整備を図るため、本市は事業の実現に向け支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●光善寺駅周辺では、京阪本線連続立体交差事業の関連事業として都市計画道路北中振線と駅前交通広場の整備が計画されている。 ●当地区における地元権利者は、商業機能の更新と都市計画施設の整備を一体的に進めるため、準備組合は組合を設立して市街地再開発事業の具体化に取り組んでいる。 ●本市は、組合の活動に対して、市街地再開発の実現に必要な技術的・財政的支援を行なっていく。 										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
					市街地再開発事業が円滑に実施され、都市計画道路や駅前交通広場の整備を行い交通結節点機能が強化される。				組合の活動に対して、市街地再開発の実現に必要な技術的・財政的支援を行なう。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明				事業進捗率 【算出式: 単年度ごとの事業費の累計/総事業費×100】				国・府との協議回数及び国庫補助金等の交付申請回数					
	単位				単位				%					
	指標種類				増加することが良いとされる指標									
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績						4.35	4.43			6	5		
達成度				89%										
分析				組合が目標としていた権利変換計画の認可のスケジュールが令和4年度当初に見直しされたことにより目標値を下回ったが、大幅なスケジュール見直しではないため、今後のスケジュールへの影響はほとんどない。				当該年度においては、国庫補助事業がなかったため、実質的には協議回数等が減少しているが、令和4年度に向けた協議回数が増加しているため、関係機関と綿密な共有化が図られている。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.75
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	19,241	19,140	13,750		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	19,241	19,140	13,750		
	物件費計	12,680	292,075	0	0	—
	歳出計	31,921	311,215	13,750		
歳入	国庫支出金	4,585	136,933	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	125,400	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	4,585	262,333	0	0	
	一般財源	27,336	29,742	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	組合における若干のスケジュールの見直しが行われたものの、権利者意向によるより良いまちづくりへ向けた検討期間を確保したものとなっているため、事業全体への影響は小規模なものである。なお、この延伸期間を吸収できるスケジュールの組み立てを行っている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	権利変換計画の認可後の各種補償費、除却工事費、新築工事費などに対し国庫補助等を活用しながら財政的支援を行っていく。また、今後、施設建築物、公共施設整備に係る具体的な協議・調整が必要となることから、引き続き組合に対し技術的支援を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称														まちづくり支援事業			
測定年度		2021(R3)年度				部		都市整備部				課		市街地開発課			
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		○		R4					
総合計画体系		基本目標				1.安全で、利便性の高いまち											
		施策目標				5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち											
		実行計画名															
1. 事務事業の概要																	
種類		市民サービス				特性		非選択的的事业				区分		非選択的の事務事業			
事業期間		1993(H5)年度				年度		~						年度まで			
根拠法令等		都市再開発法、土地区画整理法															
関係補助金名称		枚方市市街地再開発事業補助金 枚方市組合等区画整理事業補助金						サンセット		2021(R3)年度		~		2023(R5)年度			
関係附属機関名称																	
事業対象		メインターゲット		市街地再開発事業、土地区画整理事業を施行しようとする者(施行している者)													
		サブターゲット															
		ターゲットが抱える課題		施行者が市街地再開発事業、土地区画整理事業を実施するにあたり技術的、財政的な支援が必要である。													
		ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		市街地再開発事業、土地区画整理事業が円滑に遂行されており、快適で安全なまちが実現できている状態。															
事業概要		<p>建築物及び建築敷地の整備並びに公共施設の整備を行い、都市における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新とを図り、もって公共の福祉の増進に寄与する計画的なまちづくりを誘導及び推進するため、専門的知識を提供し、市街地再開発事業を支援する。</p> <p>公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を行い、健全な市街地の造成を図り、もって公共の福祉の増進に資する計画的なまちづくりを誘導及び推進するため、専門的知識を提供し、土地区画整理事業を支援する。</p>															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
		市街地開発事業により、快適で安全なまちが実現できている。				市街地開発事業に関する専門的な知識を得ることができ、事業が促進される。				市街地開発事業について、地元権利者を中心とした組織に対し専門的知識を提供する。							
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
		指標説明		市街地開発事業が完了した地区数(累計)		市街地開発事業完了する地区数		市街地開発事業を実施又は検討している地区数									
		指標種類		増加することが良いとされる指標													
		指標数値		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5									
		達成度		100%													
		分析				現在事業実施している地区について令和5年度の事業完了に向けた支援を行った。		現在実施、検討している地区のまちづくりが円滑に進むよう支援を行った。									
				単位 地区		単位 地区		単位 地区									
		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5											
		17 17 17 18		0 0 0 1		0 7 7 6											
		17 17		0 0		0 7											

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	5.75
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,238	18,502	43,051		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	11,238	18,502	43,051		
	物件費計	83	37	109	8,500	1%
	歳出計	11,321	18,539	43,160		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	225	225	
	歳入計	0	0	225	225	
	一般財源	11,321	37	▲ 116	8,275	

5. 総括的分析

総括的分析 指標の達成度については概ね想定通りであったが、機構改革等により検討地区の集約や増加があったため、人員の再配置が必要となった。今後のまちづくりの機運の高まりや事業の進捗に応じ、技術的・財政的支援について検討を行う必要がある。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、まちづくりの機運の高まりや事業の進捗に応じ、技術的・財政的支援を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称		市街地開発課運営事務												
測定年度	2021(R3)年度				部	都市整備部				課	市街地開発課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外											
	施策目標		99.施策体系外											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性			庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務		
事業期間	R4年度(2022年度)				年度	~						年度まで		
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称									サンセット		-			
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		市街地開発課職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている。													
事業概要	課の運営業務													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明		単位		単位		単位							
	指標種類													
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標(見込み)												
	実績													
達成度														
分析														

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	8,250		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	8,250		
	物件費計	—	—	0	0	—
	歳出計	—	—	8,250		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	機構改革により、市街地整備室内の横断的な事務を行う必要があったが、室内担当同士で連携し、対応した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、課運営事務が円滑に進むように取り組む。